

北九州市観光振興プラン概要（案）

●計画期間：令和5年度～令和9年度（5年間）

令和4年11月22日
産業経済局

第1部 総論

基本目標

「暮らす人」「訪れる人」がともにわくわくする観光・交流都市 ～ゲストとして迎え、友人として送り出そう～

- ①「夜景」「門司港レトロ・城下町小倉の歴史文化」など北九州がこれまで育んできた魅力を一層向上させ、
- ②周辺都市圏域約400万人を取り込むマイクロツーリズムを促進します。
- ③本市宿泊客の約7割を占めるビジネス客が、もうか所、もう一泊を楽しむ「プラスワン観光」の魅力を提供します。

戦略

戦略Ⅰ 暮らす人・訪れる人がともに楽しめる観光資源の磨き上げ

戦略Ⅱ ファン・リピーターづくりのための戦略的なプロモーション

戦略Ⅲ 訪れる人の満足度向上に向けた環境整備

戦略Ⅳ 何度も訪れ、楽しんでもらうための持続可能な観光地づくり

KPI

取組期間前半(3年)で、コロナ前の水準に戻すことを目指す。
取組期間後半(2年)のKPIなどは前半の取組状況を踏まえ再設定する。

	コロナ禍以前 (R元年)	R3年	目標 (R8年3月時点)
観光客数	2,420.8万人	1,105.3万人	2,500万人
宿泊客数	192.9万人	124.6万人	200万人
消費額	1,345億円	399億円	1,400億円
市民の満足度※	—	65.7%	75%

※「あなたの目から見て、北九州市は魅力的な観光地であると思いますか。」という問いに対して「とてもそう思う」「そう思う」と回答した合計割合

第2部 観光振興プラン実現のための戦略と主な取組

戦略Ⅰ 暮らす人・訪れる人がともに楽しめる観光資源の磨き上げ

1 北九州が誇る歴史・文化・食の魅力発掘・一層の磨き上げ

- ・小倉城とその周辺の魅力向上
- ・門司港レトロ・和布刈地区の魅力向上
- ・市内を一望できる絶景・皿倉エリアの魅力向上
- ・「ものづくりのまち」北九州の魅力を体験できる産業観光コンテンツの開拓
- ・北九州の魅力あふれる食のPRや新たな名物・おみやげものづくりの検討

2 新しい魅力の発掘・創出

- 新・観る・応援する・参加するスポーツツーリズムの振興、ワーケーション、コワーキング利用者などへの観光PR
- ・(若松北海岸や平尾台など)自然を活かした体験型、滞在型観光の促進
- ・ポップカルチャー、映画やドラマ等のロケ地など、文化芸術を活かした誘客促進
- ・思わずまち歩きがしたくなる居心地のよい空間づくり

3 夜景を中心とした夜型観光の魅力向上

- 新・宿泊施設と連携した地元飲食店などへの誘導によるナイトタイムエコノミーの促進
- ・夜間、早朝での誘客イベントの実施
- ・ライトアップによる夜間景観の向上や安全安心な夜景観賞のための環境整備

4 もう一か所、もう一泊を促す「プラスワン観光」につなげる観光資源、文化関連施設の「ストーリー化」

- 新・歴史や文化などのストーリーを意識した観光モデルコースの磨き上げ
- 新・(再掲)宿泊施設と連携した地元飲食店などへの誘導によるナイトタイムエコノミーの促進
- 新・(再掲)観る・応援する・参加するスポーツツーリズムの振興、ワーケーション、コワーキング利用者などへの観光PR

戦略Ⅱ ファン・リピーターづくりのための戦略的なプロモーション

1 市民や近郊在住者が自ら発信したくなる仕組みづくり

- 新・屋外アートなど気軽に発信できるフォトスポットづくりの検討
- ・フォトコンテストなど市民や来訪者自身による発信を促す仕組みづくり

2 旅マエからわくわくするディープな北九州の発信

- ・ぐるリッチ北Q州や観光案内所での個々のニーズに合わせた案内機能の強化
- ・市民もメディアも活用できるフリー素材の一層の充実
- ・地域の魅力を伝える地元ウェブメディアなどとの連携強化
- 新・市民が自ら体験し、魅力を発信する「クチコミ」を活かす仕組みの検討

3 ビジネス・MICEなど様々な目的で訪れる方への「プラスワン観光」を促すプロモーションの強化

- ・アフターコンベンションなどで楽しめる観光資源の一層の強化とその発信
- 新・(再掲)宿泊施設と連携した地元飲食店などへの誘導によるナイトタイムエコノミーの促進
- ・(再掲)ぐるリッチ北Q州や観光案内所での個々のニーズに合わせた案内機能の強化

4 インバウンドへの戦略的対応

- ・北九州空港・福岡空港を軸にした多角的な誘客プロモーション
- ・大規模イベント・スポーツ大会などの機会を活かした情報発信
- 新・観光施設や商店街などの多言語案内の強化

5 北九州の強みを活かした修学旅行・産業観光のコンテンツ強化

- ・SDGs先進都市北九州ならではの修学旅行用メニュー、体験学習プログラムの充実
- ・(再掲)「ものづくりのまち」北九州の魅力を体験できる産業観光コンテンツの開拓

6 MICEやイベントなどの誘致強化

- ・社会ニーズに対応した大規模集客イベントなどの誘致
- ・安全安心・快適なMICE開催のための設備・機能強化

戦略Ⅲ 訪れる人の満足度向上に向けた環境整備

1 誰もが快適かつスマートに北九州観光を楽しめる公共交通の利用促進

- 新・観光分野でのMaaSの活用、西鉄バス・JR・タクシーなどとの連携
- 新・市内周遊バスの発行など、公共交通機関を利用した周遊促進策の検討
- 新・環境にも利用者にも優しいグリーンスローモビリティなど新たな移動手段の検討

2 訪れる人がストレスなく観光を満喫できる環境づくり

- 新・皿倉山など観光施設のおもてなし機能の向上
- 新・観光拠点となるような観光ホテル誘致の検討
- 新・観光庁「観光施設における心のバリアフリー認定制度」の宿泊施設や観光施設での普及促進などユニバーサルツーリズムの推進
- 新・観光施設におけるキャッシュレス対応やデジタルチケットの導入の推進

3 観光DXの推進による利用者の利便性・満足度の向上や、事業者の生産性向上

- 新・観光案内機能のデジタル化
- 新・XR(クロスリアリティ)を活用した観光コンテンツの検討
- ・ビッグデータなどデジタルテクノロジーを活用したマーケティングの強化
- 新・(再掲)観光施設におけるキャッシュレス対応やデジタルチケットの導入の推進

戦略Ⅳ 何度も訪れ、楽しんでもらうための持続可能な観光地づくり

1 観光関係の組織や企業・個人など、北九州の多様な主体と連携し、推進する体制の構築

- 新・企業が観光分野の担い手として挑戦・投資・参入しやすい環境づくり
- 新・登録DMOの設立に向けた、民間事業者などが主役となった推進体制の構築

2 国、九州観光機構、県、北九州市圏、山口県などと連携する広域観光推進の体制づくり

- ・北九州市圏域(18市町)による協議体の活用
- ・宿泊観光・滞在時間延長につながる九州内や周辺地域との連携の充実

3 宿泊税の使途を戦略的に検討できる体制づくり

- 新・宿泊税の使途などを検討する外部有識者などによる会議体の設置

4 災害や感染症などへの危機管理体制の強化

- 新・危機事象におけるウェブや観光案内所などでの情報発信
- 新・訪日外国人も災害時などに必要な情報が入手できる体制づくりの検討

5 観光振興を通じたSDGsの取組の推進

- 新・観光におけるEVバスへの移行など脱炭素に向けた取組の検討
- 新・観光事業者や観光客による脱プラスチックやフードロス削減など自然環境への負荷が少ない観光の取組の推進
- ・(再掲)SDGs先進都市北九州ならではの修学旅行用メニュー、体験学習プログラムの充実

6 おもてなしの機能強化・人材育成

- ・観光案内所の充実、スキルの高い観光ガイドの育成強化
- 新・趣味や嗜好で観光客とガイドがつながる新たな観光ガイドの検討

第3部 地区別プラン

小倉都心部

- 歴史・文化から食・エンタメまで、多様な魅力であふれる都市型観光拠点『城下町 小倉』
- 1日を通していつでもまち歩きを楽しめる環境整備
 - 小倉城・小倉城庭園の集客力向上による域内周遊の促進 など

皿倉・東田

- 北九州の「現在」「過去」「未来」をすべて学び、楽しめる“まちごとミュージアム”『皿倉・東田地区』
- 皿倉山頂施設の魅力の一層の向上
 - 東田大通り公園などを含めたエリア一体の回遊性向上 など

門司港レトロ・和布刈

- 九州最北端の港町リゾート『門司港レトロ』
- ガイドライン策定やターゲットの明確化によるブランディング構築
 - 観光DXやパブリックアートを活かした集客 など